

令和6年度 前橋市粕川児童館運営委員会 議事録

区 分	内 容
件 名	令和6年度前橋市粕川児童館運営委員会
日 時	令和6年6月24日（月） 午前10時30分から午前11時30分まで
場 所	粕川児童館 卓球スペース
出 席 者	1 運営委員 粕川町自治会連合会会長 猪熊 龍司 粕川町自治会連合会副会長 諸星 清 粕川地区民生委員児童委員協議会書記 中谷 玲子 粕川地区民生委員児童委員協議会主任児童委員 加藤 美由紀 粕川地区民生委員児童委員協議会主任児童委員 伊丹 明子 粕川地区青少年健全育成会会長 瀬下 裕子 粕川小学校校長 西田 知子 2 事務局 こども施設課 岡田課長、荒井補佐、山田 粕川児童館 蓮沼館長、田邊厚生員 3 欠席者 粕川地区子ども会育成団体連絡協議会会長 大巻 良太
決定事項	1 運営委員会役員 会長 猪熊 龍司 副会長 諸星 清、中谷 玲子 2 令和6年度前橋市粕川児童館事業計画 資料（計画案）のとおり
主 な 意見等	1 意見交換 （岡田課長） 人気のあるイベントの受付方法はどのように行っているか。また、予約がいっぱいで参加できなかった方から苦情などはあるか。 （蓮沼館長） 電話か来館による申込みとし、2週間前から受付けている。粕川児童館は予約がいっぱいになることは少なく、苦情はない。 （瀬下委員） イベントに参加する方に偏りはないか。 （蓮沼館長） 来館者に職員が声を掛け、イベントを周知しているので偏りはないように感じる。 （西田委員） イベントの申込みは市外在住者でも可能なのか。 （蓮沼館長） 可能である。 （岡田課長） 条例上、制限していないので問題ない。 （西田委員）

小学校では、時代の変化に合わせて母親委員の名称を家庭教育委員に変更した経緯があるが、児童館で活動する母親クラブについても名称や対象者の見直しを検討する必要があるかもしれない。ママ友の存在がある母子家庭に対し、父子家庭の父は孤独を感じやすい傾向にあるようだ。

2 その他

(岡田課長)

粕川保育所の地域子育て支援センターと児童館の連携状況はどうか。連携を図っていると良い。

(蓮沼館長)

運動会などの行事を共同で実施するなど協力し合っている。今後も連携していきたい。

(岡田課長)

情報共有となるが、本市では6月から試験的に「こども誰でも通園制度」を開始した。公立では第三保育所で実施しているが、ほぼ毎日予約が埋まっている。今はまだ試験的实施であるため、対象施設が14施設と少なく、利用者も月10時間までと制限があるが、令和8年度から全国的に本格実施となるため、将来的には3歳未満児の受け皿になっていくことが予想される。(児童館で3歳未満児を対象としていたイベントの需要が下がれば)空いたところに小中学生を対象としたイベントなどを考えていく必要があるかもしれない。

(猪熊委員)

制度としては良いように感じる。

(伊丹委員)

朝は何時から利用可能なのか。

(岡田課長)

園によって異なるが、第三保育所は朝9時から夕方4時まで利用できる。

(西田委員)

保育所の職員配置が大変ではないか。食事の提供やアレルギー対応はどうか。

(岡田課長)

職員は2名配置している。園によるが食事の提供も行う。アレルギーについては管理指導票を提出してもらっている。

(蓮沼館長)

運営委員の方々には、昨年度まで粕川児童館の除草作業を協力してもらい。大変感謝している。今年度からは保育所の用務技士の方に除草作業をしてもらえることとなったので報告する。

(伊丹委員)

シルバー人材センターに除草作業を依頼すると伺っていたが。

(荒井補佐)

委託料の予算がつかなかったため、内部で調整させていただいた。

(猪熊委員)

運営委員会は年間何回実施するのか。

(荒井補佐)

基本的には今回の1回だけである。

以上